

「第3次健康都市おやまプラン 21(案)」に対するパブリック・コメントの結果について

「第3次健康都市おやまプラン 21(案)」に対するパブリック・コメントの結果について、以下のとおり公表いたします。

今回の意見募集にあたりご協力いただきました方々へ御礼申し上げますとともに、今後とも本市の健康づくりの推進にご協力いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 意見募集の概要

- 1) 閲覧期間 令和7年1月31日(金)～令和7年2月13日(木)
- 2) 閲覧場所 ① 健康増進課 ② 各出張所 ③ 小山市ホームページ
- 3) 提出方法 ① 郵送 ② FAX ③ 専用フォーム ④ 健康増進課へ直接書面による提出

2. 意見募集の結果

提出意見数: 1 名 1 件

3. 提出された意見等の概要

次ページより

【区分】 A: 計画案に反映されているもの B: ご意見を踏まえ修正するもの C: 参考とさせていただくもの

4. お問い合わせ先

小山市健康増進課 健康づくり推進係

Tel: 0285-22-9520 Mail: d-kenko@city.oyama.tochigi.jp

No	該当項目	ご意見等	区分	市の考え方
1	P59	車依存が健康に良い訳ない事は誰でも理解していると思いますが、今後30年で「高齢者になってから公共交通機関に頼ろうとする人」を減らそうという発想にならないのか不思議です。 少子高齢化社会の中で、若い世代に小山市中心部への居住、車への依存度を少しずつ減らすライフスタイルを推奨できないのは何故でしょうか。 書かれている街と人の課題を解消するために行うべきは ・若い(居住地選択がまだできる)世代に小山市中心部への居住の推進 ・車中心に染まった小山中心部の歩道整備 施行事業欄に「ウォーカブルなまちづくり」と記載されているが、何故計画に反映されるのはバスのみで歩道整備が書かれていないのでしょうか。 駅周辺では、歩道どころか十分な路側帯すらない道が多く、すぐ横を多くの車が走行しており非常に危険です。 まちなかの歩道整備を行い、市民がまちなかに住み、車移動ではなく、徒歩移動が可能な環境を選択する未来を目指すことが、現実的な30年後の「健康都市」に繋がると考えます。	C	小山市で策定されている各計画では、街なかへの居住の推進に向けた取り組みが行われており、日常生活を快適に過ごせるまちづくりが進められています。 また、誰もが安全で快適に移動できる歩道の整備は、健康づくりにおいて大変重要であることから、他課の計画との整合性を図りながら、健康な暮らしを実現できるまちづくりを目指してまいります。 頂いたご意見につきましては、計画を推進する上で、今後の参考とさせていただきます。